プログラム 1 日目　8 月 31 日(土)

12：50－13：00　開会式　**第 1 会場　大講堂**

13：00－13：40　大会長講演　**第 1 会場　大講堂**
「変容する家族への支援」 式守晴子

13：50－15：20　特別講演　**第 1 会場　大講堂**
「テーマ化する家族」
小森康永先生（愛知県立がんセンター）

15：50－16：50　日本家族看護学会　20 周年記念　理事会企画　**第 1 会場　大講堂**
シンポジウム「日本家族看護学会の軌跡と今後の方向性」

17：00　日本家族看護学会総会　**第 1 会場　大講堂**

一般演題

第 2 会場　　経営情報学部棟 4111

14：30－15：10　口演 1　慢性期の健康問題をもつ人と家族

0-01 透析非導入を決断した患者家族への介入プロセス
[1]地方独立行政法人　堺市立病院機構　市立堺病院
田中 順也[1]

0-02 医療依存度の高い療養者とともに生活する家族のヘルスケア機能　―療養者の状態の管理に焦点を当てて―
[1]鳥取大学　医学部　附属病院、[2]高知県立大学看護学部
中井 美喜子[1]、長戸　和子[2]、瓜生　浩子[2]

0-03 在宅終末期に家族および訪問看護師がとらえた緩和ケアニーズの比較－がんと非がん事例の臨死期の比較－
[1]広島文化学園大学　大学院　看護学研究科、[2]前広島文化学園大学　大学院　看護学研究科、[3]県立広島大学　保健福祉学部　看護学科
島内 節[1]、山本　純子[1]、安藤　純子[1]、岡平　美佐子[2]、狩谷　明美[3]

15：30 - 16：50　テーマセッション 1　　第 2 会場　経営情報学部棟 4111

TS-1 看護基礎教育課程における効果的な家族看護学教育に向けて

[1]家族支援リサーチセンター湘南、[2]神奈川県立保健福祉大学、[3]東邦大学、[4]東海大学
鈴木 和子[1]、松坂　由香里[2]、安武　綾[3]、井上　玲子[4]

第 3 会場　　経営情報学部棟 4109

14：30－15：20　口演 2　高齢者と家族

0-04 高齢者と家族が考える終末期意思決定と家族機能の関連について：高齢者の事前指示書普及研究から

[1]川崎医療福祉大学　医療福祉学部　保健看護学科
服鳥 景子[1]

0-05 高齢実母の在宅介護を担う娘介護者の思い

[1]無し、[2]千葉科学大学
土田 美香[1]、関戸　好子[2]

0-06 寝たきり度の高い在宅高齢者の排便ケアにおける家族の関係性を配慮した訪問看護師の支援：夫介護者の事例

[1]千葉大学　大学院　看護学研究科、[2]石川県立看護大学　看護学部　看護学科
辻村 真由子[1]、石垣　和子[2]

0-07 認知症高齢者の終末期と暮らしにおける見守り支援－自宅に代わる住処における疑似家族の意味－

[1]宝塚大学、[2]園田学園女子大学、[3]関西福祉大学
人見 裕江[1]、原田　俊子[1]、中村　陽子[2]、福井　恭子[2]、石井　薫[3]

15：30 - 16：50　テーマセッション２　　第 3 会場　経営情報棟 4109

TS-2『家族看護エンパワーメントガイドライン』の臨床への導入と看護介入の評価

[1]高知県立大学　看護学部、[2]日本赤十字社医療センター、[3]高知大学医学部附属病院、[4]愛知県立大学　看護学部、[5]日本赤十字豊田看護大学　看護学部、[6]福島県立医科大学　看護学部
池添 志乃[1]、畠山　卓也[1]、関根　光枝[2]、星川　理恵[3]、野嶋　佐由美[1]、中野　綾美[1]、中山　洋子[1]、畦地　博子[1]、田井　雅子[1]、升田　茂章[1]、槇本　香[1]、小松　弓香理[1]、岩瀬　信夫[4]、山口　桂子[4]、服部　淳子[4]、岩瀬　貴子[5]、濱尾　早苗[6]

14：30－15：20　口演 3　急性期の健康問題と家族　　第 4 会場　経営情報学部棟 4107

0-08 “代理意思決定”における家族システム変動とレジリエンスの研究　～気管挿管に焦点をあてて～

[1]滋賀県立成人病センター、[2]JA 長野厚生連佐久総合病院、[3]東京女子医科大学病院、[4]東海大学健康科学部
松本 修一[1]、今井　美佳[2]、藤井　淳子[3]、柳原　清子[4]

0-09 緊急入院患者の家族のニーズから家族対応について検討する

[1]岩手県立磐井病院　消化器外科
小原 美智子[1]

0-10 特定機能病院における看護師の退院支援と家族看護－実施状況と関連要因の検討－

[1]東海大学　健康科学部　看護学科
岡部 明子[1]、柳原　清子[1]

0-11 外科的治療適応と診断された混合型多発性子宮筋腫の３０代未婚女性が意思決定した手術法と患者両親の思い

[1]所属なし
黄田 美香[1]

15：30‐16：50　テーマセッション３　　第 4 会場　経営情報棟 4107

TS-3 共依存と家族看護－事例検討会－

[1]横浜市立大学　医学研究科　・　医学部　看護学科 、[2]獨協医科大学大学院看護学研究科、[3]長崎県立大学看護栄養学部、[4]九州看護福祉大学看護福祉学部
松下 年子[1]、日下　修一[2]、河口　朝子[3]、原田　美智[4]

15：30‐16：50　テーマセッション４　　第 5 会場　経営情報棟 4106

TS-4 複数人数の家族員との援助関係構築に必要な面接技術　～複数面接での関係づくり～

[1]東京慈恵会医科大学附属病院、[2]東海大学医学部附属病院、[3]福島県立医科大学看護学部、[4]家族看護実践センター
児玉 久仁子[1,4]、園川　雄二[2]、畠山　とも子[3,4]

示説　　示説会場　　学生ホール１階

12：30 －16：50　示説貼付　　在席時間　　示説 - 1～3　15：30 －16：10

示説 - 4～5　16：10 －16 :50

示説-1　親になる人と家族

P-01 個別指導における MMHPP（Maternal Mental Health Promotion Program）の実施可能性の評価

[1]東京大学医学部附属病院、[2]東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野

木多 美晴[1]、池田　真理[2]、上別府　圭子[2]

P-02 子育て期にある母親の抑うつと、子どもの気質、夫からの育児支援との関係についての研究

[1]東京大学大学院医学系研究科　健康科学・看護学専攻　家族看護学分野

池田 真理[1]

P-03 フィンランド版精神疾患を有する親の子どもへの支援に向けたガイドブック日本語版の開発とその有用性の検討

[1]東京医科大学　医学部　看護学科

上野 里絵[1]

示説-2　子どもと家族　　ポスター会場

P-04 ペアレンティングプログラムに関する国内文献からの考察

[1]日本医療科学大学　保健医療学部　看護学科、[2]北里大学　看護学部

山岸 貴子[1]、小林　奈美[2]

P-05 障害のある子どもの就学がもたらす母親の生活の変化

[1]愛知県立大学　看護学部

西原 みゆき[1]、山口　桂子[1]、服部　淳子[1]

P-06 訪問看護師のための重症心身障害児との遊びマニュアル作成における試み

[1]奈良県立医科大学医学部看護学科、[2]四日市看護医療大学

山田 晃子[1]、入江　安子[1]、別所　史子[2]

示説-3　緩和ケアと家族

P-07 一般病棟に入院中の終末期消化器がん患者の家族における、ケアの満足度に関する質的研究

[1]東京大学大学院　医学系研究科　健康科学・看護学専攻　家族看護学分野
森下 美紀[1]、上別府　圭子[1]

P-08 家族による在宅終末期緩和ケアに対する満足度　－がん事例と非がん事例の時期別サービス－

[1]広島文化学園大学大学院看護学研究科、[2]広島大学大学院医歯薬保健学研究科保健学専攻
安藤 純子[1]、島内　節[1]、岡平　美佐子[2]

P-09　緩和ケア病棟におけるライフレビューの実施状況と効果

山口大学　大学院　医学系研究科、[2]聖マリア学院大学大学院
木下 みゆき[1]、齊田　菜穂子[1]、竹元　仁美[2]、渡邉　則子[1]

P-10 遺族が望む遺族ケア－遺族会に参加しない遺族に視点を向けて－

[1]独立行政法人　国立病院機構　呉医療センター、[2]広島文化学園大学　看護学部看護学科
早見 裕子[1]、酒井　晶子[1]、奥田　　真由美[1]、村松　真千子[2]

P-11 開設１年目の緩和ケア病棟における家族への関わり

[1]市立岸和田市民病院
山本 香恵[1]

示説-4　死別と家族　ポスター会場

P-12 呼吸困難のある肺癌・肺気腫高齢者の在宅看取りを支援した訪問看護事例－必要な支援と環境要因の考察－

[1]訪問看護ステーションしずおか
園田 芳美[1]

P-13 在宅で終末期を迎える人を介護する家族の予期悲嘆尺度の実用可能性の検討

[1]日本赤十字九州国際看護大学
小林 裕美[1]

P-14 訪問看護師による家族看護実践の内容　終末期がん療養者を自宅で看取ることを決心した家族に対して

[1]聖隷クリストファー大学　看護学部、[2]元聖隷クリストファー大学　看護学部、[3]豊橋創造大学保健医療学部　看護学科、[4]静岡県立大学　看護学部
山村 江美子[1]、長澤　久美子[2]、蒔田　寛子[3]、冨安　真理[4]

P-15 遺族の語りから見出した入院中から実践できるグリーフケアに関する一考察
[1]岐阜大学医学部附属病院
福田 明里[1]、吉川　充花[1]、所　恵理子[1]

P-16 配偶者死別による女性高齢者の独居生活
[1]国家公務員共済組合連合会　広島記念病院、[2]広島文化学園大学看護学部看護学科
奥田 有海[1]、安藤　純子[2]

示説－５　教育　　ポスター会場

P-17 看護学生が考えた家族援助の特徴－事例を使った時期別・課程別比較－
[1]弘前大学　大学院保健学研究科、[2]青森県立保健大学 健康科学部看護学科、[3]弘前市医師会看護専門学校、[4]青森中央短期大学、[5]独立行政法人国立病院機構 弘前病院附属看護学校、[6]八戸学院光星高等学校専攻科
北宮 千秋[1]、西沢　義子[1]、藤田　あけみ[2]、工藤　文子[3]、三上　みどり[3]、三國　裕子[4]、川添　郁夫[1]、木田　優子[5]、佐藤　弥生[5]、佐藤　美佳[6]、壬生　寿子[6]、中村　由美子[2]

P-18 看護学生の入学後と家族看護学履修後における家族の範囲、条件の捉え方の変化
[1]青森中央短期大学　看護学科、[2]青森県立保健大学健康科学部看護学科、[3]弘前大学大学院保健学研究科　、[4]弘前市医師会看護専門学校、[5]国立病院機構弘前病院附属看護学校
三國 裕子[1]、藤田　あけみ[2]、中村　由美子[2]、西沢　義子[3]、北宮　千秋[3]、工藤　文子[4]、三上　みどり[4]、境　恵理子[4]、丹代　房枝[4]、木田　優子[5]、佐藤　弥生[5]、川添　郁夫[3]

P-19 看護学生の入学時と家族看護学関連講義後の家族の役割、社会的スキル、自尊感情の変化－教育課程別比較－
[1]青森県立保健大学　健康科学部　看護学科、[2]弘前大学大学院　保健学研究科　、[3]青森中央短期大学、[4]弘前市医師会　看護専門学校、[5]独立行政法人　国立病院機構弘前病院附属看護学校、[6]八戸学院光星高等学校専攻科
藤田 あけみ[1]、北宮　千秋[2]、西沢　義子[2]、三國　裕子[3]、工藤　文子[4]、三上　みどり[4]、中村　由美子[1]、川添　郁夫[2]、木田　優子[5]、佐藤　弥生[5]、佐藤　美香[6]、壬生　寿子[6]

P-20　三年課程の看護専門学校における家族看護学の教育方法に関する国内文献の現状と課題
[1]東海大学大学院　健康科学研究科　看護学専攻　、[2]東海大学　健康科学部　看護学科
福山 幸子[1]、井上　玲子[2]、柳原　清子[2]

P-21 母性看護学演習の沐浴を通して家族支援について考える試み
[1]岐阜大学　医学部　看護学科、[2]岐阜県立看護大学

金子 洋美[1]、服部　律子[2]

P-22 在宅ケアチーム体制を理解し家族支援に活用する能力を育成するケースメソッド教材の作成

[1]静岡県立大学　看護学部

冨安 眞理[1]、上田　真仁[1]、式守　晴子[1]

2 日目　9 月 1 日(日)

10：00－11：30　教育講演　**第 1 会場　大講堂**

「インクルーシブな社会におけるケアのあり方について～障害者政策の立場から～」

石川准（静岡県立大学国際関係学部教授、内閣府障害者政策委員会委員長）

12:00-12:50 ランチョンセミナー　**第 1 会場　大講堂**

家族同心球環境理論に基づいた家族アセスメント／家族インターベンション

法橋尚宏，本田順子

神戸大学大学院保健学研究科家族看護学分野・家族支援 CNS コース

14：30－16：10　シンポジウム　**第 1 会場　大講堂**

「変容する家族への支援-多職種それぞれの視点から」

竹村華織(　家族支援専門看護師、海老名総合病院)

内田美加（ソーシャルワーカー、聖隷浜松病院）

平岡篤武（臨床心理士、静岡県立吉原林間学園）

渡辺俊之（精神科医、高崎健康福祉大学）

一般演題

13：00－14：30　口演 4　推薦演題　**第 1 会場　大講堂**

0-12 訪問看護師の関係性構築技術：導入の拒否の強い事例からの検討

セントケア千葉株式会社　セントケア訪問看護ステーション美浜、[2]セントケア・ホールディング株式会社、[3]セントケア東京株式会社　セントケア訪問看護ステーションあい、[4]セントケア神奈川株式会社　セントケア訪問看護ステーション大和、[5]東京大学大学院

川上 真紀[1]、池田　洋美[4]、立花　弥生[3]、岡本　茂雄[2]、谷口　奈央[2]、山本　則子

0-13 長期在宅人工呼吸器療法を受ける患者と共に生きる家族のエンパワーメントに寄り添う支

援

[1]愛知県心身障害者コロニー中央病院、[2]愛知県立看護大学看護学部
棚橋 規香[1]、野々山　敦夫[1]、山口　桂子[2]、服部　淳子[2]

0-14 医療事故を経験した家族の変容～家族のナラティヴ（語り）に焦点をあてて～

[1]東京女子医科大学病院、[2]滋賀県立成人病センター、[3]JA 長野厚生連佐久総合病院、[4]東海大学　健康科学研究科

藤井 淳子[1]、松本　修一[2]、今井　美佳[3]、柳原　清子[4]

0-15 訪問看護師が実践する家族支援の事例検討：代理意思決定に苦悩した家族への支援

[1]株式会社　みんなの訪問看護リハビリステーション、[2]東京大学　大学院
安塚 則子[1]、和智　理恵[1]、森元　陽子[1]、渡邊　麻衣子[2]、山本　則子[2]

0-16 症状コントロールが難しかった在宅看取りの事例研究：訪問看護師が行う「心の支援」の構造化を目指す

[1]セントケア東京株式会社　セントケア訪問看護ステーションあい、[2]セントケア・ホールディング株式会社　医療支援部、[3]セントケア千葉株式会社　セントケア訪問看護ステーション美浜、[4]セントケア神奈川株式会社　　セントケア訪問看護ステーション大和、[5]東京大学大学院
立花 弥生[1]、池田　洋美[4]、川上　真紀[3]、岡本　茂雄[2]、谷口　奈央[2]、山本　則子[5]

0-17 高齢夫婦による在宅看取り事例における「安心」への訪問看護の支援

[1]セントケア神奈川株式会社　セントケア訪問看護ステーション大和、[2]セントケア・ホールディング株式会社　医療支援部、[3]セントケア千葉株式会社　セントケア訪問看護ステーション美浜、[4]セントケア東京株式会社　セントケア訪問看護ステーションあい、[5]東京大学大学院
池田 洋美[1]、川上　真紀[3]、立花　弥生[4]、岡本　茂雄[2]、谷口　奈央[2]、山本　則子[5]

10：00－10：50　口演 5　親になる人と家族　　第 2 会場　経営情報学部棟 4111

0-18 妊娠以降の母親と父親の SOC（首尾一貫感覚）と気分状態

[1]横浜市立大学医学研究科・医学部看護学科 、[2]九州看護福祉大学看護福祉学部、[3]長崎県立大学看護栄養学部
松下 年子[1]、原田　美智[2]、河口　朝子[3]

0-19　NICU における親子関係形成の支援に関する熟練看護師のアセスメントと実践

[1]大阪大学　医学部　附属病院、[2]大阪府立大学　看護学部
田和 なつ美[1]、中山　美由紀[2]、岡本　双美子[2]

0-20 葛藤を抱える未婚の若年妊婦と家族への妊娠初期における看護介入-家族で取り組む体制づくりに焦点を当てて-

[1]高知県高知市病院企業団立　高知医療センター、[2]高知県立大学
田渕 良枝[1]、長戸　和子[2]

0-21 母子保健（親子保健）に携わる行政保健師の家族支援の実際

[1]神奈川県立保健福祉大学　保健福祉学部　看護学科
松坂 由香里[1]

11：00－12：00　口演 6　子どもと家族　　第 2 会場　経営情報学部棟 4111

0-22 きょうだい面会がＮＩＣＵ退院後の受け入れに及ぼす影響

[1]旭川医科大学病院
岩井 恵美[1]、本村　あゆ美[1]、武田　知美[1]、佐々木　弥奈[1]

0-23 乳幼児期から腹膜透析を受けてきた子どもの母親の体験－先天的腎疾患・後天的腎疾患の事例より－

[1]岐阜大学医学部付属病院、[2]福井県立大学　看護福祉学部　看護学科
石榑 志織[1]、江口　千代[2]

0-24 在宅で医療的ケアを要する子どもを持つ両親の養育体験　－幼児期の“小児緩和ケア対象児”に焦点をあてて－

[1]産業医科大学　産業保健学部　、[2]九州大学　大学院医学研究院　保健学部門　看護学分野
廣渡 加奈子[1]、濱田　裕子[2]、藤田　紋佳[2]

0-25 小児における吸引に対する家族の思い

[1]東京都立大塚病院　小児科病棟
山口 茜[1]

0-26 家庭内の問題解決ツールとしての親子をつなぐサポートブック～効果の可視化を通じて活用の可能性を探る～

[1]医療法人社団元気会横浜病院
要田 麻美[1]

13：00－14：20　テーマセッション５　　第２会場　経営情報棟 4111

TS-5 市民公開講座
3.11 東日本大震災 - 福島の今

[1]福島県立医科大学　看護学部　家族看護学、[2]社会医療法人　秀公会　サポートセンターあづまっぺ、[3]東京慈恵会医科大学附属病院
畠山 とも子[1]、菊田　裕樹[2]、児玉　久仁子[3]

10：00－10：50　口演７　家族看護の展開　　第 3 会場　経営情報学部棟 4109

0-27 家族看護学を学んだ看護師の“気になる家族”と価値観との関連性についての研究

[1]福島県立医科大学　看護学部　家族看護学、[2]家族看護実践センター
畠山 とも子[1]、児玉　久仁子[2]、手島　美子[1]

0-28 テキストマイニングから見えてくる新たな看護師の医行為

[1]天使大学　看護栄養学部　看護学科
石川 徳子[1]

0-29 看護師の家族看護実践における"関わりの見極め"
～一般病床のエスノグラフィーから～

[1]JA 長野厚生連　佐久総合病院、[2]東京女子医科大学病院、[3]滋賀県立　成人病センター、[4]東海大学　健康科学部
今井 美佳[1]、藤井　淳子[2]、松本　修一[3]、柳原　清子[4]

0-30 家族看護領域における看護診断の普及に関する基礎的検討

[1]愛知県立大学　看護学部
山口 桂子[1]、曽田　陽子[1]、服部　淳子[1]

11:00－11:50　口演８　死別と家族　　第３会場　経営情報学部棟 4109

0-31 グリーフケアに繋がる家族への看護介入を考える――遺族へのインタビューより家族の想いを明らかにして

[1]地方独立行政法人　大阪府立病院機構　大阪府立急性期・総合医療センター
丹原 理絵[1]、高野　裕美[1]、藏本　信恵[1]、植田　悦代[1]

0-32 集中治療室で家族とともに行う死後のケアに影響する要因

[1]岡山県立大学　保健福祉学部　看護学科
犬飼 智子[1]、渡邉　久美[1]

0-33 子どもをもつ壮年期の終末期がん患者の家族の Transition を支える看護ー家族システムの変化を意識した介入ー

[1]社会保険神戸中央病院、[2]高知県立大学
皆本 美喜[1]、長戸　和子[2]、瓜生　浩子[2]

0-34 家族間における延命治療についての話し合いと家族機能

[1]淀川キリスト教病院　看護部、[2]大阪府立大学　看護学部
藤原 真弓[1]、中山　美由紀[2]、岡本　双美子[2]

13：00－14：20　テーマセッション６　　第３会場　経営情報学部棟 4109

TS-6「渡辺式」家族アセスメント/支援モデル　その 4－解決志向的アプローチのパターン分類

[1]東海大学　大学院　家族看護学、
柳原 清子[1]、
[3]

10：00－12：00　　第４会場　経営情報学部棟 4107

研究促進委員会・編集委員会 共催企画セミナー
テーマ：事例研究を投稿しよう

ファシリテーター：上別府圭子（東京大学大学院医学系研究科）
：山本　則子（東京大学大学院医学系研究科）
事例提供者　　：安塚 則子（みんなの訪問看護リハビリステーション）

13:00－13:50　テーマセッション 7　　第 4 会場　経営情報学部棟 4107

TS-7 クリティカル領域の看護師への家族看護の教育とその課題

[1] 東海大学　医療技術短期大学、[2] 北里大学病院、[3] 東海大学病院、[4] 滋賀県立成人病センター、[5] 東海大学病院
新村 直子 [1]、高見　紀子 [2]、園川　雄二 [3]、松本　修一 [4]、泉谷　洋美 [5]

11:00－11:50　口演 9　精神障がいと家族　　第 5 会場　経営情報学部棟 4106

0-35 アルコール依存症者の家族のターニングポイント－家族のつながりの再解釈－
[1] 香川大学　医学部　看護学科、[2] 高知県立大学　看護学部
越智 百枝 [1]、野嶋　佐由美 [2]

0-36 精神科看護師が抱える慢性期統合失調症患者への家族支援における困難感と対応
[1] 大阪赤十字病院
早田 有希 [1]

0-37 精神科医療の保護者制度と医療保護入院見直しに対する家族の思い－インタビュー調査の結果から－
[1] 横浜市立大学　医学研究科　・　医学部　看護学科 、[2] 前横浜市立大学医学部看護学科
松下 年子 [1]、塚田　尚子 [2]

0-38 アルコール依存症者と健康者の発達時期による家族機能の比較
[1] 獨協医科大学　大学院　看護学研究科
日下 修一 [1]

13:00－14:20　テーマセッション 8　　第 5 会場　経営情報学部棟 4106

TS-8 精神科医療における保護者制度と医療保護入院見直しに基づく今後の家族看護の展望

[1] 横浜市立大学　医学研究科　・　医学部　看護学科 、[2] 横浜市総合リハビリテーションセンター、[3] 埼玉医科大学保健医療学部看護学科、[4] 横浜市立大学医学研究科看護学専攻
松下 年子 [1]、塚田　尚子 [2]、辻脇　邦彦 [3]、上松　太郎 [4]

示説　　示説会場　　学生ホール１階

10：00－14：20　示説貼付　　在席時間　　示説‐６～９　10：20－11：00

示説‐10～11　11：00－11:40

示説‐６　大学と現場のコラボレーション

P-23 家族看護エンパワーメントガイドラインにもとづいた看護実践の効果指標の作成

[1]高知県立大学　看護学部、[2]愛知県立大学　看護学部、[3]日本赤十字豊田看護大学　看護学部、[4]福島県立医科大学　看護学部

槇本 香[1]、野嶋　佐由美[1]、中野　綾美[1]、中山　洋子[1]、畦地　博子[1]、池添　志乃[1]、田井　雅子[1]、升田　茂章[1]、畠山　卓也[1]、小松　弓香理[1]、岩瀬　信夫[2]、山口　桂子[2]、服部　淳子[2]、岩瀬　貴子[3]、濱尾　早苗[4]

示説‐7 子どもと家族

P-24 青年期の重度脳性麻痺児・者をもつ家族の発達課題（その１）～母親が認識している家族の発達課題～

[1]中部大学　生命健康科学部　保健看護学科

大村 政生[1]、山田　知子[1]、石黒　彩子[1]

P-25 青年期の重度脳性麻痺児・者をもつ家族の発達課題（その２）～家族の発達課題に影響を与えた要因～

[1]中部大学　生命健康科学部　保健看護学科

大村 政生[1]、山田　知子[1]、石黒　彩子[1]

示説‐8　急性期の健康問題と家族

P-26 救急病棟における家族への看護介入についての一考察－「家族の思いや希望」を共有する－

[1]石川県立中央病院

佐藤 彰子[1]

P-27 急性期病棟における家族の意思決定支援の現状及び課題について

[1]昭和大学病院

迫田 典子[1]、牧　克仁[1]

示説-9　慢性期の健康問題と家族

P-28 脳卒中在宅生活者と家族介護者における感覚異常に対する生活管理行動と支援の実態
[1]聖隷クリストファー大学　看護学部
豊島 由樹子[1]、川村　佐和子[1]

P-29 難病の患者会・家族会の運営と、それらを支援する社会資源についての実態調査
[1]東京大学　大学院　医学系研究科　健康科学・看護学専攻　家族看護学分野
江本 駿[1]、池田　真理[1]、上別府　圭子[1]

示説-10　高齢者と家族

P-30 施設入所高齢者に対する食の支援を通した家族と職員の関わりに関する文献検討
[1]北里大学大学院　看護学研究科、[2]北里大学看護学部
富山 まどか[1]、小林　奈美[2]

P-31 在宅要介護高齢者の男性家族介護者の介護に対する思い-経過の長い難病の妻をもつ事例に着目して-
[1]川崎医療福祉大学
松本 啓子[1]、伊東　美佐江[1]

P-32 認知症に罹患した妻の介護をするうえで男性介護者が感じている困難
[1]元　聖隷クリストファー大学、[2]順天堂大学、[3]聖隷クリストファー大学
長澤 久美子[1]、岩清水　伴美[2]、山村　江美子[3]

P-33 在宅高齢者の胃瘻造設を代理決定した家族の思い
[1]医療法人ガラシア会　ガラシア訪問看護ステーション、[2]大阪医科大学 看護学部
高橋 咲子[1]、泊　祐子[2]

P-34 A 市の訪問看護ステーションにおける認知症高齢者の職種間の情報共有に関する認識
[1]岡山県立大学　保健福祉学部　看護学科、[2]岡山赤十字看護専門学校
渡邉 久美[1]、村上　礼子[2]

P-35 在宅への退院に向けた病棟看護師の家族支援内容 ―高齢者の家族に焦点を当てて―
国立長寿医療研究センター
膽畑 敦子

P-36 離島在住第 2 号被保険者の介護保険に関する考えと家族構成

[1]聖マリア学院大学看護学部
濱野 香苗[1]

P-37 レビー小体認知症の妻を介護する完璧主義の夫を訪問看護師が理解するプロセス
[1]岡山赤十字看護専門学校、[2]岡山県立大学　保健福祉学部　看護学科
村上 礼子[1]、渡邉　久美[2]

示説-11　　看護の展開

P-38 コミュニケーションが不十分な家族を巻き込んだ終末期癌患者の意思決定支援
[1]岐阜大学　医学部　附属病院
松本 直子[1]、平岡　佐織[1]、所　恵理子[1]

P-39 災害復興支援に向かう看護師の家族に生じた反応と変化
[1]国立障害者リハビリテーションセンター
粟生田 友子[1]、横田　陽子[1]

P-40 医療機関外来における家族支援に関する国内文献検討
[1]北里大学　看護学部
森谷 栄子[1]、小林　奈美[1]、大野　佳子[1]、中井　泉[1]、本多　康則[1]

P-41 訪問看護ステーションにおける家族事例検討の学習効果
[1]北里大学　大学院　看護学研究科、[2]北里大学　看護学部
蔦沢 朋未[1]、小林　奈美[2]

P-42 看護実践における現象学の活用に関する文献研究
[1]東京大学　医学部付属病院
内山 久美子[1]

P-43 家族同心球環境理論（CSFET）に基づいた家族アセスメントツールを用いた家族アセスメントの実際
[1]神戸大学大学院　保健学研究科
高谷 知史[1]、小野　美雪[1]、本田　順子[1]、法橋　尚宏[1]

P-44 クリティカル領域における終末期を迎えた家族への援助～1 事例を通して～
[1]兵庫県立姫路循環器病センター
久理田 和代[1]、久保　真奈美[1]